



第 43 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムに論文を提出される皆様へ

電気学会論文誌 E への同時投稿のご案内

－ 本年も、掲載料の割引を行います－

電気学会 E 部門編修委員会 委員長
高尾 英邦

平素は「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム（以下センサシンポ）および電気学会論文誌 E（センサ・マイクロマシン部門誌）に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

電気学会論文誌 E では、第 43 回センサシンポへの講演論文を論文誌 E にも同時に投稿いただく「同時投稿」を歓迎いたします。本「同時投稿」制度では、センサシンポ講演論文と同一の内容^{*1}のご投稿いただいても「二重投稿」「著作権上の問題」には当たりません^{*2}ので、皆様の研究成果をシンポジウムの枠を超えて、より広く発信いただくためにご利用いただけます。ただし、本会への投稿前に公開出版物に投稿・発表されていないこと^{*2}が条件です。投稿の手引きをご参照ください。

^{*1}一般投稿論文と同様に書式確認および査読を行い、採択された論文は『一般論文』として掲載します。

^{*2}電気学会論文誌投稿手引 [1] 投稿規則 2.1 (6) による。

2026 年 10 月 31 日（土）までに論文誌 E に「同時投稿」いただけた場合、掲載料を最大 50%（ただし上限 2 万 2 千円）割引しますので、掲載費用の負担を抑えられます。

なお、電気学会論文誌への投稿に際しては、以下の点についてご留意をお願いいたします。

- ・センサシンポ講演論文と電気学会論文誌では、原稿フォーマットは類似しているものの若干の差異がございます。著者紹介の追加等が必要になります。フォーマットは著者の責任で変更をお願いいたします。詳しくは電気学会ホームページから「論文投稿」のページをご覧ください、投稿手引およびテンプレートをご確認ください。
- ・投稿は、電気学会ホームページの「論文投稿」ページから「電子投稿・査読システム」を使って行います。同システムの投稿画面下方にある特集テーマリストにおいて“『第 41 回センサ・マイクロマシンと応用システムシンポジウム』同時投稿論文”を必ず選択してください。（未選択の場合は割引特典を受けられない場合があります）
- ・論文の掲載のためには、一般投稿論文と同様の査読を行います。掲載可の判定となった論文から、順次論文誌に掲載します。
- ・電気学会以外の学協会に対し著作権を譲渡した講演論文は、本「同時投稿」制度を使った投稿はできません。
- ・非会員の方の投稿も可能です。しかし、この機会に電気学会への入会をご検討いただければ幸いです。電気学会ホームページではオンラインで入会申込が可能です。入会されると掲載料に会員価格が適用されるとともに、毎月発行される会誌と論文誌が購読でき、バックナンバーも購読可能になります。電気学会ホームページはこちらです。（<http://www.ice.jp/>）
- ・センサシンポ参加登録と同時に電気学会に入会いただくと、学生は初年度会費が全額、社会人配属 4 年以内の方は初年度入会金・年会費が 5,200 円割引になるキャンペーンを行っています。入会キャンペーンをご利用になる場合は、センサシンポ参加登録画面からの入会をご利用ください。（電気学会に直接オンライン入会をされると、入会キャンペーンが適用できませんのでご注意ください）。

連絡先：

ご不明な点がございましたら、下記までメールにて気軽にお尋ねください。皆様の論文誌 E への投稿を心よりお待ちしております。

E 部門論文主査 松永 忠雄（鳥取大学） matsunaga@tottori-u.ac.jp

Short translation:

You can submit your manuscript for this symposium to the special issue of IEEJ Transactions on Sensors and Micromachines. The same content is accepted if you transferred copyright of your symposium paper to IEEJ. The publication fee is discounted by 50% (maximum 22,000 Yen) if you submitted before October 31, 2026 for this special issue. Another review will be performed for publication as a regular paper.

Contact: Editor in chief, Tadao Matsunaga(matsunaga@tottori-u.ac.jp).